東京都立府中療育センター新聞　第５２１号

誕生会

３Ｂ病棟　中島千絵

４月に誕生日を迎える方が3名。お楽しみ会の最初は「ハッピーバースディー」の歌でお祝いしました。そして４月から新しくなったフォトフレームで３名の方々一人ずつ写真撮影を行いました。良い表情が撮れました。写真撮影の後は、楽器演奏会の始まりです。曲目は「ボギー大佐」と、運動会でよく聞く「道化師のギャロップ」。いろいろな打楽器を各々担当し、職員と一緒に奏でました。

大太鼓の大きな音にびっくりする人、トライアングルの音に笑顔を浮かべる人、箱太鼓など珍しい打楽器の音に興味を示し楽しそうな人。職員もほとんど練習なしの本番に集中して利用者とタッグを組み演奏しました。２曲目の「道化師のギャロップ」はテンポが速く９個の打楽器を順番に鳴らしていくのですが、どの音もずれることなくビシッと決まりました。成功感、達成感、一体感を感じることが出来ました。生活療育支援科指導職員、くぬぎの先生、そして病棟では昼夜一緒にいてくれる一番近しい看護師たちの参加となり、賑やかで楽しい時間を過ごすことができました。利用者さんの真剣な表情や楽しそうな表情を見ると、笑顔や“楽しい”と感じる気持ちはその場にいるみんなに伝わるのだな、と実感できる日となりました。

武蔵台学園から届いた「寄せ植え」

生活療育支援科　石田泰美

毎年、武蔵台学園中学部２年生の皆さんが大切に育ててくれた寄せ植えを、センターに届けていただいています。

例年は、生徒の皆さんが直接鉢を運んでくださり、センターの利用者さん達と会って、お互いに交流する「贈呈式」を行っています。今年は、新型コロナウィルス感染症流行のため、それは叶いませんでしたが、代わりに先生が生徒の皆さんが書いたメッセージを付けて寄せ植えを持って来てくださいました。「わたしたちがいっしょうけんめいそだてました。」「みてください」等の言葉や、かわいらしい色とりどりの絵等が描かれたカードに、ほんわかと温かい気持ちになりました。

寄せ植えは、外来と通所の方にも見ていただこうと売店前の中庭、通所玄関に一定期間飾り、現在は通園と生活療育支援科前のベランダで元気に咲いています。

今はまだ、直接会うことは難しい状況ですが、これからも交流を継続し、お互い元気な姿を見せられる日が来ることを心待ちしています。

〒１８３－８５５３
東京都府中市武蔵台２－９－２
東京都立府中療育センター
電話　０４２（３２３）５１１５
FAX ０４２（３２２）６２０７

＊－＊－＊ホームページもご覧下さい＊－＊－＊

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html

ひだまり

都立府中療育センター新聞　第５２１号　発行日　令和３年５月３１日

看護の日

看護科（実行委員）　菊地笑美香・伊藤景子

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮して、「看護の日」のイベントができませんでした。今年度は感染防止を図りながら、新センターに移転後、初の「看護の日」イベントを開催することができました。

今年度の共通テーマは「だから、私は、看護を選ぶ」。イベントの内容は、大きく２つです。まず１つ目は、ポスター展示です。内容は、「看護の日」の由来となった「ナイチンゲール」について、と現在猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症を予防する上で重要な「手指衛生・アルコール消毒・保湿」についてです。患者さんやご家族の方々にも見ていただける様に、外来待合廊下にポスターを展示しました。２つ目は病棟の利用者に楽しんでいただける様にボッチャゲームを行いました。ボッチャとは、ヨーロッパで生まれた重症脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツで、東京２０２０パラリンピックの公式競技でもあります。

当日は、オリンピックの雰囲気を感じられるよう音楽を流し、ソーシャルディスタンスを保ちながら、鈴やタンバリンなどの楽器を使って応援し、各病棟長期利用者４名の投げたボールの合計点数を競いました。競技中は、利用者の方が笑顔で楽しんで参加されている様子が見られました。ボッチャ競技の結果は、大接戦の末、１位３Ｂ病棟　２位１Ｂ病棟　３位３Ａ病棟で、各病棟に賞状が授与されました。

来年度は、利用者やご家族、職員が楽しいひと時を共有できる「看護の日」となることを深く願っております。

お楽しみ会＆誕生会

３Ｄ病棟　瀬野由佳

４月生まれのお二人の方の誕生会を実施しました。お一人は呼吸器使用中のため、ベッドルーム周辺に他の利用者も集まって「ハッピーバースデー」の歌とプライマリーナースからのメッセージでお祝いしました。その後、デイルームに移動して東京オリンピックマスコットキャラクターの大型パズルを仕上げました。2つのチームに分かれ、誕生者にちなんだクイズやオリンピックつながりでフィンランドの伝統的スポーツ「モルック競技」を行いました。スキットルという木製のピンに見立てたものをペットボトルと画用紙で手作りし、ボールを投げて３Ｄ病棟オリジナルのルールで行いました。ボールがピンに当たらなかったり、跳ねてピンを飛び越えてしまって倒れなかったりすると、大きな笑いが起こっていました。たくさん倒して大喜びする場面もあり、賑やかな雰囲気を楽しむことができました。

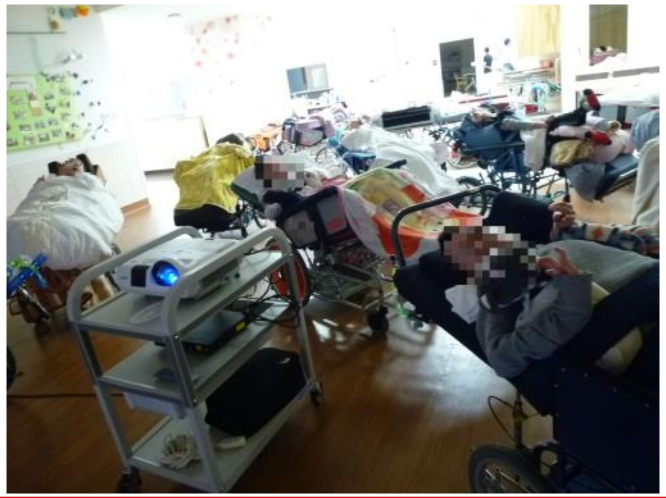
映写会

３Ｃ病棟　宮永帆海

４月１４日のお楽しみ会では、新しい看護師長と看護師の紹介、４月生まれの利用者の誕生会、そして映写会を行いました。

看護師長と看護師の挨拶に利用者は笑顔を見せて楽しそうに聞いていました。その後の誕生会では、「ハッピーバースデー」の歌でお祝いし、担当看護師からのメッセージカードを読み上げ、写真撮影を行いました。歌やメッセージカードを読み上げてもらった利用者は嬉しそうな表情をみせ、賑やかな誕生会となりました。

映写会では、２０１９年に話題となった「アナと雪の女王２」を上映しました。スクリーンに映り出される映像には、カラフルで可愛い場面や歌を歌う場面、迫力のある場面もあり、利用者の皆さんは興味津々で楽しそうに観ていました。そして職員からの「アナが出てきたよ」「オラフ可愛いね」等の話しかけにも視線や表情の変化があり、楽しい映写会となりました。後半部分は後日の活動の中でゆっくり見て、最後まで鑑賞することが出来ました。



東京都立府中療育センター新聞　第５２１号

昭和記念公園　半日バスハイク

１Ｂ病棟　福祉職

４月２２日（木）春満開の昭和記念公園へ、利用者３名と半日バスハイクに出かけました。

この日は緊急事態宣言が解除されていたため、久しぶりにバスから降りて公園内を散歩することができました。当日は半袖で過ごせるほどのさわやかな快晴で、絶好のバスハイク日和でした。広い公園内なので、ソーシャルディスタンスは十分。利用者の皆さんもマスクとフェイスシールド付きの帽子を装着し、感染対策はばっちりです。フラワーフェスティバル期間中で、パンジー、チューリップ、藤など色とりどりの花が咲いていました。気持ちよくお昼寝している方、お花や家族連れをじっと観察する方、いつもは外出に乗り気でない方も「また行きたい」と話すなど、楽しいバスハイクになりました。